



# 協議体事務局だより

第 2 号  
令和 4 年 1 月 20 日発行



## ～協議体が再開しました！～

2層協議体(コアメンバー)全ての話し合いが再開しました。しばらくの間中止していた協議体も集まってみると地域のいろいろな情報が皆さんを通して聞こえてきました。

- 公民館の花植えをしていたら、地域の人から声掛けをしていただき会話が弾みました。
- 話し合いをすることにより新たな地域の資源(お宝)の発見につながりました。
- 買い物支援時、利用者が“納豆”の種類が多さに驚かれていた。自分で買い物ができる喜びを一緒に感じることができました。
- 協議体メンバーが参加している居場所で、お汁粉大会が行われました。
- コロナ禍で町内のまとまりがなくなった。このまま人が離れてしまうのが一番心配。
- とくし丸が近所の人達の集いの場。みんなの顔を見ながら楽しく買い物ができる。
- コロナが続き、自分で動けない人が増えてしまった。だからこそ地道な支え合い活動が大事。
- 居場所では、毎日人が寄り、おしゃべりをしていく姿を見ると必要性を感じる。
- こんな時だからこそ、地域のつながりの灯を消さないようにしていくことが大切。
- ごみステーション移動の際、一時公民館でごみを集めた。持って行けない人の分を代わりに持って行ったりした。切実な問題で、助け合いは必要。
- 居場所が開催出来ないので運営サポーターで手分けしてお手紙を出したところ大変喜ばれました。

皆さんの声から、コロナ禍で「集める」ことは難しくなってしまったけれど、小さな集まりはあるようです。その小さな集まりから、人と人が出会い、つながることで気になる存在となり、ちょっと困ったことがあると、支えたり支えられたりする関係へと発展していきます。

こうした関係こそが孤立を防ぎ、安心、安全な地域へと変わっていきます。

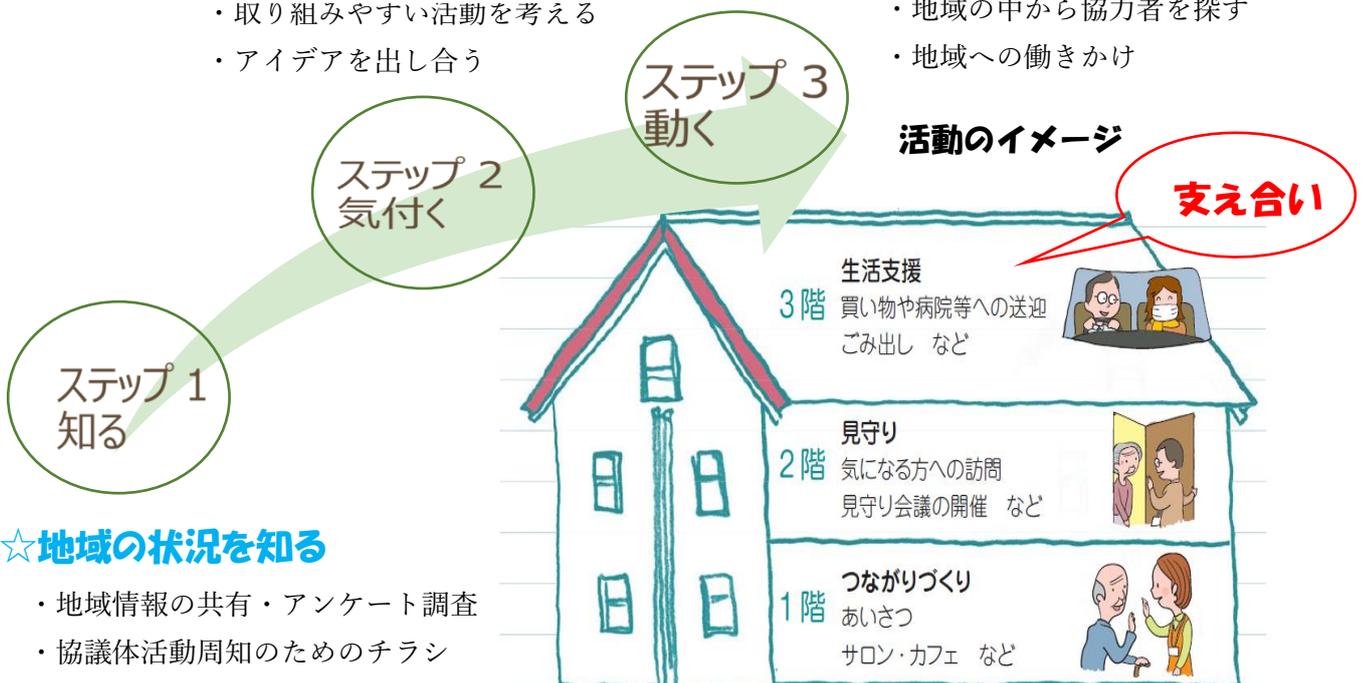
協議体は地域の情報を集め、地域住民につなぎ、そこから気付きが生まれ～つながり～支え合う地域づくりを目指します。

### ☆地域の課題に気付く

- 取り組みやすい活動を考える
- アイデアを出し合う

### ☆課題解決のための活動が始まる

- 地域の中から協力者を探す
- 地域への働きかけ



### ☆地域の状況を知る

- 地域情報の共有・アンケート調査
- 協議体活動周知のためのチラシ

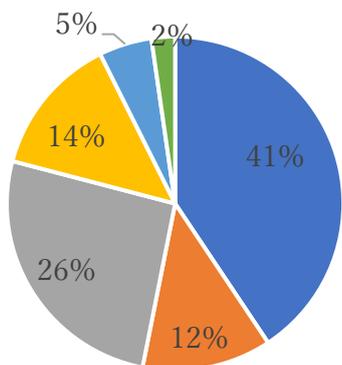


# コロナ禍における協議体活動アンケート調査「結果概要」

令和3年10月に、協議体のメンバーの方に依頼したアンケート調査の結果概要をご報告します。配布数216人中180人（83%）の方から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

## 1. 基本事項・地域活動の現状について

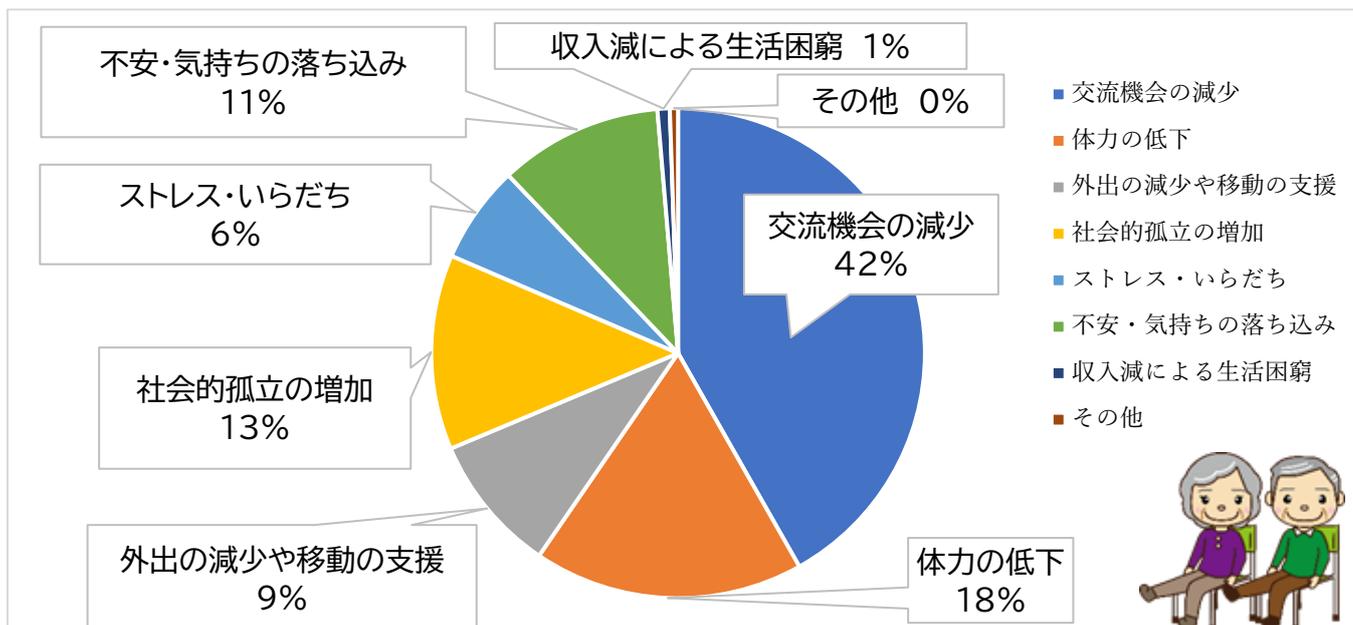
### 問3 地域活動が中止の状況について



- 活動の大切さを再認識
- 新たな活動を考えるきっかけ
- 今までの活動を見直すきっかけ
- 今までの活動に限界を感じた
- 継続中で特に変わりはない
- その他 …（中止の理由が感染症なので、やむを得ないと思う。少し残念に思う。 など）



### 問4 コロナ禍での地域等の困りごと



### 問5 居場所等、集まって行う活動が休止になった際、参加者等に対して何か別の形での活動をしたり、工夫されたことはありましたか

自由記載をキーワードで整理すると、①電話、②ごみ出し・除草・清掃、③グラウンドゴルフ、④散歩・ウォーキング・ラジオ体操、⑤安否確認・声掛け・見守り 等が多くあげられていました。コロナ禍において、活動の自粛・中止となった事業がほとんどで、試案考慮しましたが実行できませんでしたという回答もあり、皆さん本当に苦慮されていたことと思います。そんな中、手紙やハガキ、伝言板・チラシ・たより等を配布したり、屋外での活動や感染予防を行いつつ筋トレや体操に励んだり工夫して活動されている様子をうかがうことができました。

## 2. 協議体の活動再開について

### 問6 協議体の再開時期について

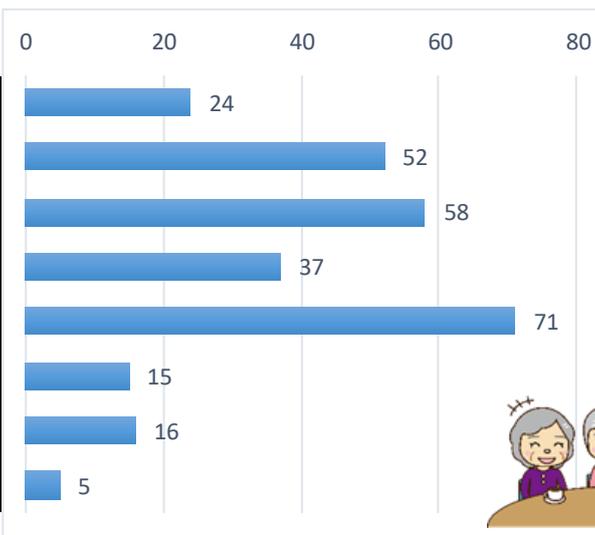
③	1	警戒度3以下	26
①	2	警戒度2以下	78
④	3	警戒度1以下	25
②	4	参加を控えたい	37
⑤	5	その他	7
		合計	173

### 問7 協議体の開催方法について

①	1	従来通りが良い	104
②	2	開催回数を減らす	29
③	3	参加人数を減らす	22
⑤	4	会場を変更	5
④	5	その他	11
		合計	171

### 問8 再開後の進め方

⑤	1	協議体とは何かから
③	2	活動の経過等振り返り
②	3	休止中の情報共有
④	4	地域の困りごと課題
①	5	具体的な活動
⑦	6	モデル地区の検討
⑥	7	特にない・わからない
⑧	8	その他



次の感染拡大の波が来る可能性もあり、無理をせず慎重を期した方が良いという意見。感染対策を徹底して開催すれば可能。少人数から始めてはどうか。等様々な意見がありました。一方、地域の活動も含めて、このままでは活動が衰退してしまう。高齢者の交流の場がなくなり、このままでは、フレイル（虚弱）も進んでしまうので、何とか再開したいという声もありました。また、協議体の開催方法や運営方法に関する改善案を挙げた方もいらっしゃいましたので、これからの協議体活動に活かして、皆さんと一緒に徐々に無理なく活動を再開できればと思います。

## 3. インターネットやオンライン会議等について（概要）



### 問10 スマホやインターネットへの接続等について

約40%の方がスマホをお持ちでしたが、接続が難しい方も少なからずおられました。

### 問11 オンライン通話を行ったことがありますか

25%の方が本人・家族含めて経験がありましたが、70%超の方は行ったことがありませんでした。

### 問12 オンライン会議への参加について

単独で参加可能な方は15%。家族の協力等という方もいますが、大半の方は難しい状況でした。

### 問13 今後、オンライン通信をやってみたいか

やってみたいと思わない方の回答が一番多く、操作方法等が不明な方もたくさんおられました。

### 問14 使い方講座を実施した場合について

参加してみたい方が半数、参加したいと思わないと機器が必要な方も合わせて半数でした。

※顔を会わせてとの意見が多くオンラインは難しい状況です。講座等は課題とさせていただきます。

## ～「とりせん」でも「とくし丸」の営業が始まりました～

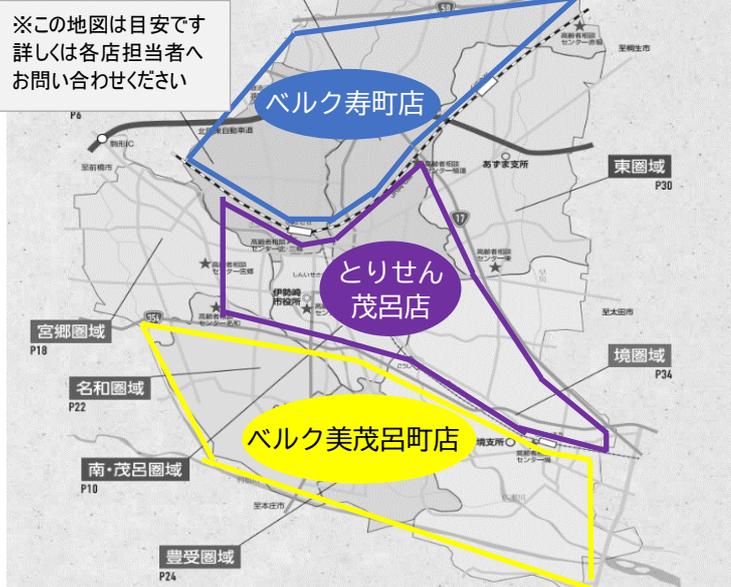
前回“移動スーパー「とくし丸」”を紹介しましたが、とりせん茂呂店でも移動販売の業務が開始されました。ただし、とりせん・ベルクとも訪問エリアは限定されていますので、ご注意ください。



(株)とりせんと地域見守り協定締結式(R3. 10. 7)



「移動スーパーとくし丸」出発式(R3. 10. 20)  
※市ホームページ市長日記：フォトレポートから転記



- ※この地図は目安です  
詳しくは各店担当者へ  
お問い合わせください
- ベルク寿町店 国道50号線より南～両毛線より北
  - とりせん茂呂店 市民病院より東 上部国道より西  
両毛線より南 国道354線/東武線より北
  - ベルク美茂呂町店 国道354線及び東武伊勢崎線より南

## 「地域支え合い車両貸出事業」 ～コロナ禍でも活動を継続中～

コロナ禍であっても移動支援は継続されています。昨年実施された赤い羽根共同募金法人募金の際は、「伊勢崎市でのつかいみち」とした本事業と協議体についても紹介したチラシを法人等へ配布しました。

### ～地域の支え合い活動を広げていくために～

伊勢崎市では、「支え合い・助け合いで育む いせさきの絆づくり」を基本理念に、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるよう地域福祉活動を展開しています。また、様々な人が参画する「協議体」を各地区に設置し、地域の支え合い活動を推進するための話し合いが行われています。こうした地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援し「じぶんの町を良くするしくみ。」として取り組まれているのが、赤い羽根共同募金です。

募金をありがとう

## 赤い羽根共同募金



伊勢崎市でのつかいみち

— 高齢者の買い物や通院の移動支援の活用 —



【編集後記】協議体が事前の打合せから徐々に再開し、全体が集まった協議体も開催できた地区もあります。休止中は皆さんにお会いする機会がほとんどなく1年(以上)ぶりにお会いした方も多く、生活支援コーディネーター(SC)はじめ事務局としても大変嬉しく思っています。地域の支え合い活動の具体的な協議を再開するには、まだまだ時間がかかるかと思いますが、今後もよろしくお願いいたします。



事務局：社会福祉法人 伊勢崎市社会福祉協議会 地域福祉推進課 電話 25-4546  
(赤堀支所 ☎62-0066 あずま支所 ☎20-2666 境支所 ☎74-5294)